

令和2年度 入学試験結果 (令和2年2月13日時点)

Table with columns: 学部 (Faculty), 試験区分 (Exam Category), 募集人員 (Recruitment), 試験日 (Exam Date), 志願者数 (Applicants), 合格者数 (Admitted). Rows include 医学部, 歯学部, 薬学部, 保健医療学部.

※昭和大学特待制度合格者…初年度の授業料免除(医・歯学部:300万円、薬学部:140万円、保健医療学部:105万円)



学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 千142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円 毎月1回発行

令和2年度一般入試がスタート
5,102名の受験生が挑む

令和2年度一般選抜入学試験1期が、1月23日(歯学部・薬学部・保健医療学部)、24日(医学部1次)の両日、東京・大阪・福岡の3試験場で行われた。今年度からは保健医療学部の看護学科および作業療法学科の学力試験で、数学必須から数学または国語の1教科選択にする制度が導入された。

- 3月号の内容
1面 令和2年度一般入試がスタート
2面 定年を迎える教授の特別寄稿
3面 定年を迎える教授の特別寄稿
マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団報告会
上條記念館に絵画が寄贈
4面 大塩葵さんがジョセフ・リスター賞を受賞
小柳唯さんがStudent Award 最優秀賞を受賞
薬学部・保健医療学部の白衣授与式開催
就任のお知らせ
昭和大学サポート寄付金寄付者氏名・上條記念館座席プレート申込み状況

医学部

より良き医療人を
求める医学部入試

医学部の一般選抜入試1期は1月24日に一次試験を行いました。志願者数は2642名で競争率は35倍でした。このうち554名が2月1日と2日に旗の台キャンパスで行われた二次試験に進み、2月3日に合格者待生75名、補欠者455名を発表しました。二次試験は小論文と面接です。小論文のテーマは医師・医療者としての研究の夢、新型コロナウイルス感染症について論述して貰いました。



(医学部長・小川良雄)

歯学部

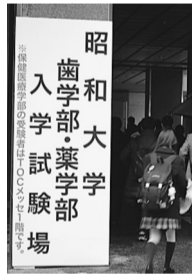
熱い希望を胸に挑む

歯学部の一般選抜入試1期が1月23日に実施されました。本年はセンター試験最後の年となり、受験生も安全域に絞り込んだことや募集期間が短かったことで志願者数は昨年よりやや低くなりましたが、募集人員44名の募集定員枠に373名の応募がありました。また、センター利用A方式では10名のところに187名、B方式では6名のところに18名、医学部併願入試では3名の募集に対して61名の志願者数となっております。

薬学部

多様な入試で選抜

「令和」最初の入学予定者
一般選抜入試2期を1月23日に実施し、584名の出願者から合格者待生97名、追加合格者131名を発表しました。2年目を迎えた医学部選抜1期利用の薬学部併願入試には89名が出願し、このうち57名が二次試験に進み、合格者5名・追加合格者19名を選抜しました。



(薬学部長・横宏太郎)

保健医療学部

国語を選択科目として導入

看護学科・作業療法学科で
志願者が増加
保健医療学部の一般選抜入試1期は、1月23日にTOCメッセを会場として行



(保健医療学部長・下司映一)

われしました。志願者は、看護学科206名、理学療法学科66名、作業療法学科25名であり、看護学科、作業療法学科で志願者が増加しました。学力試験と面接試験の結果、看護学科40名、理学療法学科13名、作業療法学科8名の合格者(待生)が発表されました。
大学入試センター試験利用入試(A方式)は、一般選抜入試1期と同日に個別試験(面接)が行われ、看護学科75名、理学療法学科32名、作業療法学科21名の合格者が、また、センターB方式(地域別選抜)は、2月11日に二次試験(小論文・面接)が行われ、各地域6ブロックから看護学科8名、理学療法学科5名の合格者(待生)が発表されました。
今年度から看護学科と作業療法学科では、幅広く入学生を受け入れる目的で、



昭和大学保健医療学部 入学試験会場

MUFG 三菱UFJ銀行
保険・資産運用・住宅ローン等のご相談は
各最寄の店舗までお気軽にご相談下さい。
長原支店 TEL:03-3720-0171
青葉台支店 TEL:045-982-3011
港北ニュータウン支店 TEL:045-941-1512
深川支店 TEL:03-3641-8301
烏山支店 TEL:03-3307-3613



# 定年を迎える教授の

## 特別寄稿

### 講座主任退任にあたり



門倉 光隆

医学部 外科学講座  
呼吸器外科学部門  
(昭和大学横浜市北部病院長)

本年3月31日をもって呼吸器外科学部門講座主任を退任させていただきます。1980年(昭和55年)3月に医学部を卒業以来、40年にわたってご指導いただきまして、横から支えて下さった皆さま、一人ひとりに心から感謝申し上げます。医療者として昭和大学建

### 退任にあたって



瀧本 雅文

医学部 臨床病理診断学講座

昭和大学医学部を1981年(昭和56年)に卒業し、田代浩二教授が主宰する第二病理学講座大学院に入学し、東京大学医科学研究所病理学専攻ヘルペスウイルス感染症実験の研究で19

命し、そこで知り合った先達からも多くを学びました。2016年(平成28年)に再び北部病院へ異動し、病院長として今日を迎えました。この間、講座主任でありながら、旗の台から離れて部門全体を統括するという貴重な経験をしました。一週間の中で附属病院間を頻りに移動する目まぐるしさ、それに耐え得る体力の維持や健康管理に配慮し、充実した時間を過ごすことができました。

学の間、講座主任でありながら、旗の台から離れて部門全体を統括するという貴重な経験をしました。一週間の中で附属病院間を頻りに移動する目まぐるしさ、それに耐え得る体力の維持や健康管理に配慮し、充実した時間を過ごすことができました。

今後とも引き続き、附属病院の運営に関わらせていただきますが、大学全体が「One Show」となることに加え、病院で働く医師や看護師・薬剤師・臨床検査技師ほか全職員が密に連携し、病院長が一つのチームとなる「One Hokujū」の理念を掲げ、医療を受ける側と、それを提供する側の両者が、満足度の高いチーム医療を実現し続けたいと考えております。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

85年(昭和60年)に学位を取得しました。大学院修了後は、外科系の臨床医に進むつもりでした。卒業の時、指導担任の第一内科高橋昭三教授に相談した際「病理に行く」と臨床に戻ってこないかと多いと言われましたが、その通りとなりました。その時は学会認定の専門医制度が始まった頃で、病理専門医に合格したことも自信になりました。形態学、面白さに魅かれたこと、太田秀一先生をはじめ良き指導者に恵まれていたからです。

その後、1987年(昭和62年)に会津中央病院病理

### 定年退職に際して



田中 和生

医学部 微生物学講座

私は1981年(昭和56年)に熊本大学医学部を卒業し、二年間の外科研修の後、九州大学の免疫学教室の大学院に入り、大学院を修了した1988年(昭和63年)に、アメリカのボストンにあるハーバード大学ブルガムアンドウイメンズ病院長の腎臓移植部門に留学しました。

この時代はサイクロスポリンの出現により、腎臓移植をはじめ臓器移植の症例数が飛躍的に増加した頃で、それに伴い合併症、特に移植後の感染症が大きな問題となっており、加えて、この時代はエイズも大

きな社会問題となった頃でもあり、それに伴う日和見感染症も深刻でした。このような時代のなかで私は臓器移植の研究の目的で留学し、ウイルス感染症に興味を覚えました。

帰国後は二年間ほど外科の臨床に従事し、外科学会認定医を取得後、九州大学のウイルス学教室の助手になり、本格的にサイトメガロウイルス、HIVなどの研究に取り組むこととなりました。1994年(平成6年)には、東海大学医学部の感染症学部門に移り、免疫学、ウイルス学の研究、さらに腸内細菌、腸管感染症に関する研究を行いました。

そしてご縁があり、2008年(平成20年)には、細菌学、ウイルス学、免疫学を研究領域とする昭和大学微生物学教室に参りました。昭和大学に着任するまでは、免疫学やSPFマウスや無菌マウスを用いた感染実験を中心とした研究を行っており、研究を継続するために、感染動物室、マルチカラーフローサイトメトリー、無菌マウス施設などが必要でした。幸いに、理事長先生をはじめとする大学の皆さまのご尽力、ご支援により、機器、施設を設置して頂くことが出来、最高の研究環境を得ることができました。

最後に、私はこれまでいくつかの大学に勤務して参りましたが、昭和大学は四つの学部、それに富士吉田教育学部との連携が素晴らしいと、多くの先生のお力添えを得て、素晴らしい環境で働くことが出来ました。昭和大学に深く感謝し、大学の今後の益々のご発展を祈念しております。お世話になりました。

### 定年退職にあたって



井上 紳

歯学部 全身管理歯科学講座  
総合内科学部門  
(歯科病院 内科クリニック)

1980年(昭和55年)に昭和大学を卒業し、直ちに昭和大学第三内科講座に入局しました。

当時は東京大学の第三内科出身の新谷博一先生が主任教授で、自分は大学院生として不整脈病理を研究するよう命じられました。そのために第二病理学教室(現臨床病理診断学講座)で、当時の田代浩二教授のもと、心臓の刺激伝導系の標本作成に従事しました。それだけでなく、藤が丘病院で指導を受ける機会をいただき、大学院生活を充実したものにすることができました。

その後は10名ほどの学位論文の指導に携わり、その後、講師になった卒業15年目あたりから行き詰まりを感じ、1995年(平成7年)から2年間アムステルダム大学の心臓病理研究室

に留学しました。ヨーロッパでの生活は研究面のみならず人間的にも視野を大いに広げる機会になりました。帰国後は第三内科(現循環器内科)と東病院で勤務しましたが、2000年(平成12年)から旧豊洲病院内科勤務を命じられました。めざす医療の充実のため心身医学の必要を感じました。

2005年(平成17年)からは歯学部で教育および診療に従事しました。赴任当時の川和忠治歯科病院長や宮崎隆歯学部長のご配慮のもとでブライマリアケアを基本に、全人的な診療にあたる体制の構築に努めました。ゼロからのスタートで数年は患者さんを集めていくか悩みましたが、現在は歯科各科との連携もスムーズになり外來の予約も埋まるようになりました。臨床病理診断学講座の瀧本雅文教授のご厚意で不整脈病理の研究も続けており、退職前年には難関の欧州心臓会議に発表の機会をいただき、よい思い出になりました。

今後は後任の先生達にバトンを渡しますが、歯学部総合内科学ならびに歯科病院内科クリニックへの更なるご援助、ご指導を宜しくお願い致します。また、昭和大学の末永い繁栄をお祈りしております。

昭友商事株式会社

国内海外出張手配  
航空券・宿泊ホテル手配

医師陪自動車保険

03-3784-8280

イベント運営補助  
会場手配・招待状・出欠席、会費管理

各種PARTY  
親睦会等

昭和大学  
オリジナルグッズ  
販売

ふるさと納税  
富士吉田の天然水

カタログ景品手配

公的申請書類  
請求手続き

ネクタイ  
ポロシャツ

あなたの人生に、「かかりつけ」の安心を。

日本調剤

地球の健康とすべての人々の健康で豊かな生活に貢献したい。それが私たちスズケンの壮大なテーマです。

Design Your Smile  
健康創造のスズケングループ

SUZUKEN  
http://www.suzuken.co.jp

日本調剤株式会社 東京都千代田区丸の内1-9-1 http://www.nicho.co.jp/



# 定年を迎える教授の

## 特別寄稿

### 昭和大学での12年間



加藤 裕久  
薬学部 臨床薬学講座  
医薬情報解析学部門

1977年(昭和52年)に昭和大学薬学部を卒業し、東京通信病院、国立埼玉病院、国立病院医療センター(現国立国際医療研究センター病院)、国立療養所西群馬病院(現渋川医療センター)、そして国立がんセンター中央病院(現国立がん研究センター中央病院)で勤務し、31年間の病院薬剤師生活を送りました。

### 退任にあたり



佐々木 忠徳  
薬学部 病院薬剤学講座

昭和大学藤が丘病院薬局に入職してから数えて41年、2020年(令和2年)3月をもちまして定年退職となりました。1994年(平成6年)に薬学部異動となり、基礎研究に従事する一方で、臨床系薬学部の構築に関わ

ることに約7年間薬学部在籍しました。その間、山元俊憲前薬学部長の指導で2号館の耐震工事を経て4講座が新たに加わり臨床系薬学部が創生され改組するという機会も経験させていただきました。その他、工藤一郎元薬学部長のリーダーシップにより薬学教育ワークショップが開催されるようになり、これを基に薬学教育6年制へと移行する激動の時期に、昭和大学を一旦退職し亀田総合病院に移りました。

2015年(平成27年)4月に13年近く勤めた亀田総合病院での勤務を終え、現職復帰しました。最も重要な任務は薬学教育が6年制導入後10年経過に伴い新アカリキュラムに準拠した実務実習のプログラムの作成することでした。同年7月にはほぼ完成させ、その年度の2月には薬学4年生の実務実習1をスタートさせ、5年生の実務実習2へと繋ぎました。さらに本年度からは鳥山病院を活用した精神医療実習が加わり、学部連携実習を合わせて18週の実習へと発展しました。名実共に日本一の実務実習の完成であると思います。

卒後研修制度作成では、昭和大学の強みを活かす薬剤師教育のレジデント教育の充実化を図りました。2019年(平成31年)4月から臨床研修薬剤師(旧レジデント制度)を2年制として新たにスタートすることができました。薬機法改正において医療における薬剤師に役割が明確化されましたが、社会から地域医療への貢献や患者の健康管理への介入が望まれています。これらを実践する上でこの臨床研修薬剤師プログラムを修了した薬剤師が院内にとどまらず地域社会に大きく貢献してくれると確信しています。

今後は4月以降特任教授として微力ながら昭和大学に貢献できるよう継続して頑張りますので、よろしくお祈り致します。

### 定年退職に際して



大幡 久之  
富士吉田教育部

1973年(昭和48年)に昭和大学薬学部に入學し、現在の職場である昭和大学富士吉田校舎での学びが始まりました。以来、47年間の長きにわたり昭和大学に学び、微力ながら研究・教育に携わることができました。昭和大学を定年退職するに当たり、これまで多くの皆さまにご指導いただきましたこと心より感謝申し上げます。最後に紙面をお借りして、医薬情報解析学部門の運営に献身的に貢献くださった小林文先生、半田智子先生、山本仁美先生に厚く御礼申し上げます。昭和大学の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

これも恩師である薬学部薬理学教室の(故)山田重男教授、百瀬和享教授をはじめ、多くの諸先輩、同僚、後輩に恵まれたためであり、ご指導とご厚情に心より感謝申し上げます。

1977年(昭和52年)、卒業と同時に卒業研究をさせていたいただいた薬理学教室に助手として入職しました。1983年(昭和58年)には、山田教授の退任に伴い、百瀬教授が着任され、その後の約20年間、薬学教育・研究の両面にわたりご指導いただきました。

2004年(平成16年)、百瀬教授の退職に伴って本田一男教授が着任された際には、それまでの研究を継続しつつ、より臨床に直結した研究にも関わらせていただき、38年間の薬学部での教育・研究を締めくくることができたと感じています。

2015年(平成27年)年4月から本年までの5年間は、富士吉田教育部の教育に携わる機会をいただき、改めて医療人としての第一歩を踏み出すための4学部が連携した学部連携教育の重要性を考える機会となりました。

医療人教育の原点である富士吉田で学び、薬学部教員として昭和大学に育てられ、四十余年後に再び富士吉田教育部での教育に携われたことはこの上ない幸せであり、心より感謝申し上げます。最後に昭和大学のますますのご発展をお祈り申し上げます。

# マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団報告会を開催

## 現地で19件の口唇口蓋裂手術を行う

令和元年度昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団報告会が1月31日、上條記念館で開催された。本事業は、アフリカ大陸東部の島国、マダガスカル共和国で口唇口蓋裂に苦しむ子どもたちの医療支援として、2011年5月から毎年行われている。今回が9回目の派遣となり、19件の口唇口蓋裂患者への手術を行った。第1回から今回までの手術件数は、191件のほる。同医療協力団は口唇口蓋裂手術の他、火傷による手指の瘢痕拘縮の治療も行った。マダガスカル共和国では生活で炭火を用いることが多いことから火傷が多い現状がある。

報告会では医療協力に参加した医師、歯科医師、看護師、学生がそれぞれの立場で経験したことを発表した。口唇口蓋裂の治療内容の他、マダガスカル共和国の医療現場の実情や現地での生活などについても発表があり、今後の課題や展望が述べられた。



報告会の様子

## 上條記念館に絵画が寄贈

### 『鷺娘』

2月17日、本学の医学部薬理学講座医療薬理学部門の兼任講師である村山舞氏(株式会社村山代表取締役)より絵画が寄贈されたことをうけて、感謝状の贈呈式が上條記念館で執り行われた。

寄贈された絵画は上條記念館の地下1階吹き抜けの壁面に飾られている。



寄贈された絵画は羽鳥絹世氏の作品『鷺娘(さぎむすめ)』(F100号)、恋の妄執に迷う娘の心を白鷺の姿に託して踊る歌舞伎舞踊の代表的な演目の一つを描いたものである。



健康応援オーケストラ  
株式会社 **メディセオ**

東京本社 〒104-8464 東京都中央区八重洲二丁目7番15号 TEL/03 (3517) 5050 (代)  
URL/http://www.mediceo.co.jp

医学堂書店

品川区  
旗の台  
電話(03)  
3783-9774



# 大塩葵さんがジョセフ・リスター賞を受賞

## 国際歯科研究学会日本部会総会・学術大会

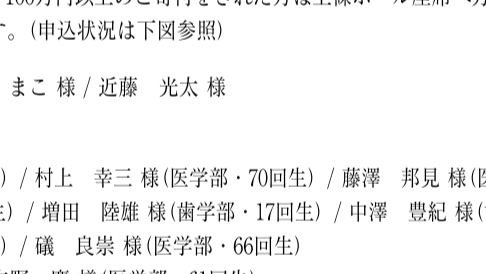
第67回国際歯科研究学会日本部会(JADR)総会・学術大会がオーストラリアのブリスベンで開催され、歯学部5年生の大塩葵さんがジョセフ・リスター賞を受賞した。

大塩さんは演題名「Gelated Ozone Suppresses Osteoclast Differentiation and Periodontal Bone Loss」による破骨細胞形成と歯槽骨吸収の抑制が高度に評価され同賞に選ばれた。

大塩さんのコメント  
このたび、私は第67回JADR学術大会にて研究発表をさせていただきました。オーストラリアやアジア各国から集まった研究内容を

を見学しましたが、それぞれの個性が光るものばかりで、私はどの分野にも興味がありました。将来自分ができるような歯科医師になりたいのか、また今後の研究についてのアイデアをもちたいと思っております。研究に携わるにはまだ経験の浅い身ですが、今後も研

鑽していきたいという思いに溢れています。今回このような名誉ある賞を賜わりまして、ご助力くださいました口腔生化学講座の上條先生や宮本先生をはじめとする研究室の先生方、国際交流センターの先生方に心より感謝を申し上げます。



# 小柳唯さんがStudent Award最優秀賞を受賞

## 日本循環器学会関東甲信越地方会

第254回日本循環器学会関東甲信越地方会が12月7日、ステーションコンファレンス東京で開催され、医学部5年生の小柳唯さんがStudent Award最優秀賞を受賞した。

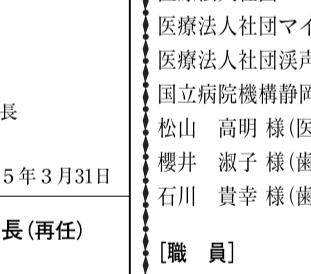
小柳さんは演題名「甲状腺機能亢進症の発症を契機に冠動脈狭窄性狭心症を合併した1例」が高く評価され同賞に選ばれた。

小柳唯さんのコメント  
このたび、日本循環器学会関東甲信越地方会においてStudent Award最優秀賞をいただき大変光栄に感じています。

本演題では、甲状腺機能亢進症の発症を契機に冠動脈狭窄性狭心症を合併した1例についての症例報告を行いました。甲状腺機能亢進症で起こる心合併症は、心房細動・心不全が多く、冠動脈狭窄性狭心症を合併することは稀ですが、発症すれば心筋梗塞に至ることもありま

す。発表の準備を通じて、甲状腺機能亢進症の患者にβ遮断薬を投与する際は、冠動脈狭窄性狭心症が悪化する

危険性を評価したうえで慎重に投与する必要があります。とがよく分かりました。今回の発表に際し指導していただきました新家先生、正司先生、小貫先生をはじめ、関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。



白衣授与式を開催  
薬学部・保健医療学部のそれぞれで、これから医療人として臨床の場で学ぶ学生を激励した。

白衣を身に着けた学生らは昭和大学宣言を唱和する中で、これから始まる実習への決意を新たにした。

中村明弘薬学部部長と下司映一保健医療学部部長はそれぞれ、これから始まる実習への決意を新たにした。



(左から)小貫龍也講師(内科学講座循環器内科学部門)、新家俊郎教授(同部門)、小柳唯さん、正司真講師(同部門)



保健医療学部(1月8日開催)



薬学部(1月15日開催)

就任のお知らせ(2月12日 理事会承認)	
 <b>矢持 淑子</b> 医学部臨床病理診断学講座担当 教授 昭和大学病院臨床病理診断科 診療科長 (勤務地: 昭和大学病院臨床病理診断科) 現: 医学部臨床病理診断学講座担当 准教授 (勤務地: 昭和大学病院臨床病理診断科) 任命日: 令和2年4月1日	 <b>伊與田 雅之</b> 医学部微生物学免疫学講座担当 教授 (勤務地: 旗の台校舎微生物学免疫学) 現: 医学部内科学講座(腎臓内科学部門)担当 准教授 (勤務地: 昭和大学病院腎臓内科) 任命日: 令和2年4月1日
 <b>相良 博典</b> 昭和大学病院院長 現: 昭和大学病院副院長 医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門担当 教授 (勤務地: 昭和大学病院呼吸器・アレルギー内科) 任期: 令和2年4月1日～令和5年3月31日	 <b>稲垣 克記</b> 昭和大学病院附属東病院院長(再任) 現: 昭和大学病院附属東病院院長 医学部整形外科講座担当 教授 (勤務地: 昭和大学病院附属東病院整形外科) 任期: 令和2年4月1日～令和5年3月31日
 <b>門倉 光隆</b> 昭和大学横浜市北部病院院長(再任) 現: 昭和大学横浜市北部病院院長 医学部外科学講座(呼吸器外科学部門)担当 教授 (勤務地: 昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター(呼吸器外科)) 任期: 令和2年4月1日～令和5年3月31日	 <b>新井 一成</b> 昭和大学豊洲クリニック院長(再任) 現: 昭和大学豊洲クリニック院長 任期: 令和2年4月1日～令和5年3月31日
 <b>渡邊 知映</b> 保健医療学部看護学科(主担当科目: 成人看護学)教授(員外) 現: 上智大学 総合人間科学部 看護学科 准教授 任命日: 令和2年4月1日	 <b>上條 竜太郎</b> 昭和大学 学生部長(再任) 現: 歯学部口腔生化学講座担当 教授 任期: 令和2年4月1日～令和4年3月31日
 <b>小川 良雄</b> 昭和大学医学部附属看護専門学校 校長 現: 医学部長 医学部泌尿器科学講座担当 教授 (勤務地: 昭和大学病院泌尿器科) 任期: 令和2年4月1日～令和3年3月31日	 <b>木庭 新治</b> 昭和大学歯科病院 内科クリニック内科 診療科長 現: 医学部内科学講座(循環器内科学部門)担当 教授(員外) (勤務地: 昭和大学病院循環器内科) 任命日: 令和2年4月1日
 <b>吉村 清</b> 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門 教授 現: 臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学寄付講座 教授(員外) 任命日: 令和2年5月1日	 <b>高木 康</b> IR室 室長(再任) 現: 副学長(教育改革及びIR推進担当) 任期: 令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々

(令和2年1月1日～1月31日ご入金分)

創立90周年記念事業への寄付(上條記念館建設)  
 目標寄付金額: 10億円  
 累計寄付金額: 919,621,809円(令和2年1月31日現在)  
 ※上條記念館建設事業へ累計100万円以上のご寄付をされた方は上條ホール座席へ芳名プレートを設置し、顕彰させていただきます。(申込状況は下図参照)

[父 母] 富田 伸様 / 近藤 まこ様 / 近藤 光太様

[同 窓]  
 中村 明央様(医学部・56回生) / 村上 幸三様(医学部・70回生) / 藤澤 邦見様(医学部・56回生)  
 扇谷 芳光様(医学部・63回生) / 増田 陸雄様(歯学部・17回生) / 中澤 豊紀様(歯学部・12回生)  
 安藤 浩一様(医学部・69回生) / 磯 良崇様(医学部・66回生)  
 医療法人社団ユニメディコ 立野 慶様(医学部・61回生)  
 医療法人社団マイスター 山下 智嗣様(歯学部・13回生)  
 医療法人社団浜声会 理事長 松浦 東吾様(医学部・73回生) / 藤井 陽三様(医学部・31回生)  
 国立病院機構静岡医療センター 院長 中野 浩様(医学部・54回生)  
 松山 高明様(医学部・66回生)  
 櫻井 淑子様(歯学部・16回生)  
 石川 貴幸様(歯学部・30回生)

[職 員]  
 小室 浩康様 / 佐々木 仁美様  
 鈴木 浩子様 / 仲田 浄治郎様

[一 般]  
 龍 國弘様 / 龍 怜伽様

[備 考]  
 ※申込順となっております。  
 ※名前の公表を希望されない方については、掲載しておりません。  
 ※申込時に同窓欄へ記載があった方につきましては、名前の後に学部と卒業回生を掲載しております(職員は除く)。

### 昭和大学上條記念館 上條ホール

上條ホール座席芳名プレート申込状況

1階: 406席(最大437席) + 車椅子26×2席

A	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
B	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
D	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
E	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
F	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
G	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
H	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
I	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
J	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
K	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
L	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
N	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
O	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
P	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

対象席数396席  
既申込数382席  
令和2年1月31日現在

※色塗り部分が既申込席、残り14席のお申し込みを随時受け付けております  
 ※創立90周年記念(上條記念館建設)事業に対し累計100万円以上お申し込みをいただいた方が対象  
 ※前方2列(31席)および車いす席(10席)はプレート設置対象外です